東名古屋病院だより

平成21年１月発行　第37号

理　念

私たちは、医の倫理を守り、患者さまの気持ちを尊重し、
より質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さまへの十分なインフォームドコンセントを基本とします。
2. 皆さまに信頼される医療を提供し、療養環境の向上に努力します。
3. 地域に密着し、心のふれあいを大切にした医療を提供します。
4. 医療水準の向上のため、常に研修に励み、医療人としての専門知識、技術の研鑽につとめます。
5. 健全な経営を維持し、安心して療養できる病院をめざします。

目　次

2 P:巻頭言「新春を迎えて」
3 P:病気とのつきあい方
「心不全と言われたら…」
4 P:北２階病棟の紹介
5 P:第２回東名セミナーを開催しました
6 P:職員･ボランティアさん募集
7 P:東４階病棟の紹介
8 P:新任者紹介
9 P:血液科の紹介
10P:外来案内、外来診察担当医表

発行元
独立行政法人国立病院機構
東名古屋病院
Higashi Nagoya National Hospital

〒465−8620
名古屋市名東区梅森坂5-101
TEL　052-801-1151
FAX　052-801-1160
ホームページアドレス
http://www.hosp.go.jp/~tomei/

巻頭言

新春を迎えて

東名古屋病院院長　吉田　純

新年明けましておめでとう御座います。

昨年は世界を跋扈（ばっこ）した石油と穀物の高騰を中心とした資源高と食料危機から始まり、米国においてサブプライム問題に端を発した金融危機が一機に進みました。そしてリーマン・ブラザーズはじめ大手の投資銀行が軒並み破綻し、時を経ず同じ問題がヨーロッパ、アジアを含む全世界へと波及すると共に実体経済が急速に減速し、社会不安が蔓延しました。わが国においても例外ではなく、ガソリンの高騰や事故米の流通などの食の安全問題、そして株価の急落と円高による不動産・建築産業、そしてトヨタに始まる自動車産業や電機機器等の輸出産業全体に経営失速がおこり、景気の悪化による派遣社員のリストラや中小企業の倒産へと繋がり世界不況に巻き込まれていきました。

医療界においては、医療の質と安全の確保が困難となり、医療崩壊が危惧されています。その原因は人材不足と情報不足です。また現在、医療現場での連携体制が不備のため、十分な医療、とくに救急・急性期医療が都市、郡部ともに、望めなくなってきました。昨年、これらの問題を社会保障制度国民会議において検討されましたが、社会制度全体の機能強化に向け、国民の目線での大胆な改革が必要であると報告しています。その中で１）医療の集約化と介護との連携。２）病院の機能分化と病床機能の見直しが指摘されています。がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病等はすべて未病気期、急性期、慢性期がある生活習慣病であり、多くは一病院で完結出来ない医療です。そこでこうした病気の管理には関与する急性期病院と回復期・維持期病院そしてかかりつけ医との機能分化と連携が必須であり、また同時に、患者様と市民が自身の健康と病気を分担管理する患者・市民中心の医療が必要と思います。

東名古屋病院は名古屋市内の住宅地にあり、13万㎡以上の緑豊かな広大な敷地を有する500床の病院です。周辺は名東区、天白区、日進市、長久手町等、急激に人口が増加している地域で、２km以内には５万人が住んでいる住宅地であります。その中にかかりつけ医は多いのですが、中核病院は当院しか御座いません。そこで当院は本年、これまでの政策医療中心の病院から脱皮し、診療科数と診療内容を充実させ、地域住民や患者さんが求める一般医療の砦となる開かれた病院を目指していきます。そしてリハビリテーションを中心とする連携医療の中核病院を目指し、本年度中に回復期リハビリテーション病棟を新設し周囲の急性期病院、かかりつけ医と連携し脳卒中の連携医療を始めます。また将来は予防、健診事業や在宅看護・リハビリテーション支援事業も立ち上げ、予防から介護までの切れ目のない健康・医療・介護支援を行う特徴ある病院を目指します。そのためには何よりも市民との連携が必要であり、皆様方のご理解と最前線の医療情報の共有が必須です。ついてはこうした目的で昨年より開始しました市民セミナー「東名古屋病院セミナー」を、今年も企画します。ぜひご参加下さい。また、ホームページを新しくしました。（http://www.hosp.go.jp/~tomei/）ぜひご覧下さい。

最後になりましたが、皆様方には本年も健康でご活躍されますようお祈り申し上げます。

病気とのつきあい方

心不全と言われたら…

前：第一循環器科医長　棚橋　保

皆さんは心不全と聞いたらどんな病気を思い浮かべますか？やばい病気、急死する病気、治らない、末期状態…等々、おそらく多くの方はあまり良いイメージは持たれていないだろうと思います。では、心不全ってどんな病気なんでしょうか？

実は、心不全とは病名ではなく「心臓の働きが不十分な結果起きた体の状態」を言います。状態とはつまり症状や体の様子を表すこと。風邪をひいたときなどの発熱や咳などと基本的には同じです。では、心不全を来す元の病気ってどんなものがあるでしょうか？　それは心筋梗塞や心臓弁膜症、特発性心筋症、高血圧性心臓病など非常に多くの疾患が考えられます。

さて、心不全の治し方について簡単にご説明しましょう（ここでは心不全状態の一般的な治療法についてお話しするにとどめ、原因となっている個々の病気については省略いたします）。まず、心不全治療の基本的な考え方として ①心臓の収縮機能を高める、②心臓にかかる負担を減らす、といった２つの方法が考えられます。

前者はおもに急性期の治療として行われています。強心薬を点滴等により持続的に注入して心不全状態を改善しようという治療法です。ただしこの方法は長期間続けるとかえって心臓を悪くしてしまいます。それはちょうど弱った馬車馬に鞭をいれる事と同じ。一時的には元気が出るけど結局は早くバテてしまって走れなくなります。【図１】つまり強心薬は鞭と同じなんですね。

【図１】

それゆえ、最近では慢性期ではもちろん、急性期でも②の治療方針で行なう事が中心と言えましょう。馬車馬に例えると、荷物を減らして、餌を十分に与えながらゆっくりゆっくり登っていく方法ですね。【図２】

【図２】

心臓の負担を減らす治療法として具体的には、利尿薬（荷物を減らす－前負荷の軽減）、血管拡張薬（前および後負荷の軽減）、冠拡張薬（餌を十分に与える）、β遮断薬（スピードをおとす）等が挙げられます。それらを組み合わせて心臓の負担を減らしてやり心臓を長持ちさせようという訳です。そのため場合によっては一時的に前よりも多少息切れしやすくなるといったことがあるかも知れませんが、循環器科の医師はそういうことも見越して心臓を守っています。

その他にも心筋保護や心臓発作の予防のためさまざまな薬剤を使用します。心不全というのは心臓の働きだけでなく血管の緊張やホルモンのバランスなど想像以上に多くの病態が複雑にからんで起こるものです。その病態に対応すべく循環器の医師は数種類の異なる薬を用いてそのバランスを維持するような治療を行います。ちょっとバランスを崩すとたちまち心不全が悪化したりあるいは最悪の場合には死の転帰をとることもあります。それゆえ調子が良いからと言って素人判断は禁物、なんでも医師に相談しながら気長に病気と付き合っていきましょう。

最後に、日常生活において心臓の負担を軽くするために注意すべき点をいくつか述べておきます。過労や無理な運動は控えましょう。風邪をひいても心不全を悪化させますのでいつも睡眠を十分にとり疲れを残さないように。体重の増加はもちろん塩分の摂り過ぎも体内に水分を貯留させ心臓の荷物を増やしてしまいます。食べ過ぎ太りすぎに注意し塩分も控えましょう。ただし、寝てばかりいては逆効果。適度の運動は長い目でみるとむしろ心臓負荷を減らします。毎日のんびりと散歩することは心不全の予防にとても良い事です。ぜひ毎日の日課として続けられる事をお勧めいたします。

北2階病棟の紹介

重症心身障害児(者)の生きがいとは？
～病棟行事の様子から～

療育指導室　指導主任　島田　明義　保育士　河村　隆代

当院の北２病棟は、重症心身障害（重い身体障害と知的障害を併せ持った患者さまの）病棟です。35年以上の長期におよぶ入院生活を送られている方もみえ、この病棟が治療の場であり、生活の場にもなっています。しかし、ほとんどの患者さまが、重い障害ゆえに、自ら思うようには動けず、要求も伝えられずにいるのです。

療育指導室では、患者さまに対して、楽しみや季節感を味わったり、生活にメリハリをつけたり、気分転換、精神的安定、生活能力の維持向上、発達の促進、社会参加などを図るといった社会的・福祉的・教育的サービス（支援）を提供しています。それらを総称して『療育』と呼んでいます【療育とは、医療の『療』と育成・教育の『育』をあらわしており、広い意味ではその人のQOL（生命、生活、人生の質）の向上を図るすべての活動をさします】。

私たちは、患者さまに「何をすればよいのか？」「生きがいとは何か？」と、いつも自問自答しています。『ノーマライゼーション』ということばを聞いたことがあるでしょうか。これは「障害を持った方やお年寄りの方など社会的に不利を受けやすい人々が、社会の中で他の人々と同じように生活し、活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方」のことです。例えば、音楽を聴いたり、買い物をしたり、誕生日や成人式といった人生の節目を祝ったり、季節の移り変わりを感じたり、日常生活の中で、誰もが当たり前に体験したり、感じたりすることを、患者さまにも当たり前に味わっていただきたいと思っています。

そこで今回は、普段から行っている療育の中から、『行事』について紹介したいと思います。行事には院内行事と院外行事があります。

【院内行事】：病棟内で、『七夕』や『クリスマス会』など一般家庭でも行われる季節行事を行ったり、『誕生会』『還暦を祝う会』などのお祝いをしたり、イベントとして『夏まつり』などを行っています。どの行事にも保護者や演奏のボランティアに参加していただき、盛大に、時にはしっとりと、場を盛り上げてもらっています。今年から、『誕生会』には季節のおやつを栄養科から出していただき、行事の楽しみが増えました。患者さまは、普段とは違う雰囲気や音楽、人とのふれあいにより、笑顔を見せたり、声を上げたり、できる限りの表現でその感動を伝えてくれています。

【院外行事】：車いすに乗ったまま乗車できるリフト付福祉タクシーを利用して、近隣のショッピングセンターや公園、飲食店等に出かける『野外活動』を行っています。今年は愛・地球博記念公園（モリコロパーク）や刈谷ハイウェイオアシス、アイモール三好などに出かけ、おやつを食べたり、買い物をしたりしました。車のゆれに体を震わせながら喜んだり、冷たいアイスに顔をゆがませたり、お母さんとのスキンシップを存分に味わったり、短い時間の中で貴重なお出かけタイムを楽しんでいました。

今後も、保護者やボランティア、看護スタッフに支えられ、協力を得ながら、もっともっと楽しく、有意義な時間が過ごせるよう、工夫を凝らした行事そして療育を行いたいと思います。

第2回東名セミナーを開催しました

東名古屋病院が地域に開かれた病院に、また、患者さんや地域の皆様に親しまれる病院に生まれ変わろうとしていることをアピールし、地域の方や医療関係者の方々に役立つ、様々な医療情報を継続して発信することを目的として、10月４日（土）に第２回目の「東名セミナー」を開催しました。

メインテーマ：「脳卒中～最近の話題～」
　　―予防から後遺症の克服まで―
日時：平成20年10月４日（土）　13:00～16:00
場所：東名古屋病院　デイケア棟及び体育館
内容
第一部　13:00～14:00
　脳卒中とリハビリの相談会
　相談件数　19件
第二部　14:00～16:00
　講演会
　講演１「脳卒中治療は時間との戦い」
　　東名古屋病院神経内科医長　　伊藤　信二
　講演２「脳卒中の予防外科―血管内手術―」
　　名古屋大学脳神経外科准教授　宮地　茂
　講演３「東名古屋病院での脳卒中リハビリ」
　　東名古屋病院リハビリテーション部長　犬飼　晃
　特別講演「脳卒中を防ぐ―
　　高血圧からメタボ対策、そして水際防衛まで」
　　国立循環器病センター脳血管内科部長　峰松　一夫

脳卒中とリハビリの相談会風景

講演会風景

リハ学院第２会場

副院長挨拶

残暑の中、第１回東名セミナーを上回る374名の方に参加していただきました。誠にありがとうございました。講演に合わせて行ったアンケートにおいては、「脳卒中の予防の必要性が良くわかった」など、殆どの方からご好評の回答をいただきました。皆様からよせられたご意見を参考に、今後も計画的に実施していきますのでよろしくお願いいたします。

次回（第３回）は４月に呼吸器疾患を題材に開催予定です。ご期待下さい。

東名古屋病院は地域医療に貢献します。

＊昨年12月以降、以下の外来診療科を開始しましたのでご利用ください。

総合内科　毎週水曜日　名古屋医療センター　濱口　止血・血栓研究部長
泌尿器科　毎週水曜日　名古屋医療センター　青田　泌尿器科部長
肛門外来　毎週木曜日　加藤　外科部長
乳腺外来　毎週金曜日　渡邊　外科医長

10ページの外来診察担当医表をご覧ください。

東名古屋病院のホームページをリニューアルしました!!

皆様に色々な情報を発信していきたいと思います。ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス
http://www.hosp.go.jp/~tomei/

職　員　募　集

- **看護師**
- **作業療法士、理学療法士の産休代替職員（任期あり）**
- **非常勤職員：薬剤師（薬局１名、治験１名）**

是非、管理課庶務係長までご連絡ください。お待ちしております。
TEL 052－801－1151（代表）

ボランティアさん募集

当院では、患者さまの療養生活が少しでも豊かになるように、いろいろな活動の援助をしてくださるボランティアさんを募集しております。

ボランティアの内容

＊衣類等洗濯物の整理整頓、修繕
＊車椅子清掃、整備、修理
＊草刈り
＊歌・楽器演奏（コンサート）
＊ｅｔｃ・・・

是非、管理課庶務係長までご連絡ください。お待ちしております。
TEL 052－801－1151（代表）

東4階病棟の紹介

東４階病棟看護師長　重野かおる

東４階病棟って何処。入り口に『ひまわり』の花がある病棟です。季節を問わずに入り口に咲いています。

当病棟では、急性期にあたる病状の患者様を看護させていただいています。主に消化器外科や呼吸器外科の手術を目的とされる患者様や、状態変化に伴って緊急入院を必要とされる患者様を看させていただいています。また、リハビリ期や癌を患った患者様も看させていただいております。急性期の状態にある患者様は、体も心も弱っています。そして、御家族の方々も心が動揺している状況ではないでしょうか。そこで、私たち東４階病棟看護師の出番です。治療する医師の方針を軸に全力を尽くしてサポートします。患者様や御家族の方々の心の支えとなり、『ひまわり』のように明るく太陽の存在になれるように努力しています。手術を控え入院される患者様は、手術を受ける事の決定に悩み、入院という環境への緊張は想像を超えるものがあると思います。脳梗塞や肺炎等の急な状態の変化で入院される患者様は、この後どうなるのだろうか、また元気になれるだろうかと悩み病院を頼って入院されるのではないでしょうか。私たちは、その思いに少しでも近づき少しでも早く元の生活に戻れるように援助させていただきます。そして、症状が安定されましたら専門病棟の方で療養していただく場合もありますが、当病棟でもリハビリに力を入れています。入院され一時的に低下した身体機能の回復に向けてリハビリを行い、退院後の生活に必要な生活指導も行い安心して生活が送れるようにと考えております。癌を患った患者様には「その人らしさ」を忘れず援助させていただいております。

このように、いろいろな患者様が入り交じった病棟ですが、その為にスタッフは常に学習し専門病棟に劣らない看護が提供出来るよう日々頑張っております。そして、スタッフ全員が元気で細やかな配慮が出来るように『ひまわり』のような明るさを心がけています。

新任者紹介

外科部長

加藤　俊之

平成20年10月１日より外科に勤務しています。東名古屋病院には平成９年から14年までの５年間勤めたことがあり、その頃のことが懐かしく思い出され、再び当地で働けることを大変うれしく思っています。

東名古屋病院外科は渡邉、和泉両医師に私が加わって３人体制となり、食道から胃、大腸、直腸に至る消化管、肝胆膵、肛門を含む消化器外科および乳腺内分泌外科診療を行っています。また、がん化学療法や緩和医療にも積極的に取り組んでいます。今後も呼吸器外科・整形外科と協力して外科系診療の、消化器内科と協力して消化器疾患診療のさらなる充実を図りたいと考えています。

信頼される医療を提供し、東名古屋病院がこれまで以上に地域の皆様に必要とされ、安心して利用いただける病院となるよう努力する所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

副薬剤科長

深津　　哲

本年10月１日付で、名古屋医療センターより転勤をしてきました。

東名古屋病院は、私が大学を卒業して、最初に勤務した病院であり、その後に赴任した病院で、薬剤師として勤務するうえで必要となる薬の調剤や製剤、医薬品に関する情報提供など、病院の薬剤師としての基本となる様々な仕事を学んだ場所でもあります。

20年の歳月が過ぎて、病院の建物はあまり変わることもなく懐かしさを感じましたが、病棟から眺める梅森坂周辺は開発が進み、景色も随分変わってしまいました。また、私も年齢を重ねて気持ちとは裏腹に、体の動きも悪くなってしまいましたが、初心を忘れることなく、薬の専門家として、医療を取り巻く環境の変化に対応しつつ、一日も早く患者様方の期待にこたえられるように、努力していきたいと思います。

まだ至らない点も多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いします。

レジデント

高間　夏子

11月より内科レジデントとして勤務しています。

まだまだ学ぶべきことがたくさんありますが、指導医の先生方のご指導を受けがんばりますので、宜しくお願いします。

血液科の紹介

喀痰や尿の細菌検査について

血液主任臨床検査技師　野崎　慎司

皆様は、お腹が痛いとか熱がある、咳がでるといったさまざまな症状で受診されると思います。そのような時、採血をしたり、胸部や腹部のレントゲンをとったりＣＴ検査を受けた経験があると思います。そのなかで喀痰や尿を出して下さいと言われた事がなかったでしょうか。痰を出してと言われても…と思われた患者様、実はこの喀痰や尿を用いて病気の原因となる病原体（細菌）が存在するか否かを検査しています。では、検査をしているといっても何をどのようにしているのかを今回は簡単に説明して行きたいと思います。

提出していただいた検体（喀痰や尿など）は見た目では細菌がいるかは当然判りませんから（細菌の大きさは0.5～10μmと非常に小さいので顕微鏡で拡大しないと見えません）最初に小さなガラス板に検体を塗り特殊な溶液で検体を染色した後（この作業をグラム染色といいます）顕微鏡で観察しておおまかに４種類の菌に判別します。この作業をする事でどのような細菌がいるのか、ある程度菌名を推測する事ができます。次に悪さをしているかもしれない細菌を増やす作業に移ります。どのようにするかと言いますと培地といわれる細菌が好む栄養成分入りの寒天などに喀痰等を塗ります（写真①：塗る前の培地）。その後37℃に保った装置で１～２日間発育させると、もし細菌がいる場合はその培地に目に見える形で菌が発育してきます（写真②）。

では検査はこれで終了かと言うとここからが始まりです。その色々生えてきた小さな塊が患者様に悪影響を与えている細菌かどうかを調べます。と言うのも、ここに見える菌の塊（写真③：拡大）が本当に悪さをしている細菌なのか、あるいは全く悪さをしない元々体に住みついていて（常在菌と言い喀痰などには必ずいます）病気に関係のない細菌なのかを判断する必要があります。

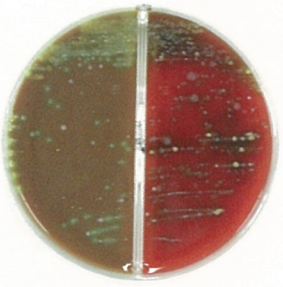
ちなみに余談ですが、写真①の左半分はチョコレートのような色をしていますがこの培地の名前はチョコレート寒天培地と言います。また右側は赤い血液のような色をしていますが名前は、皆様の予想どおり血液寒天培地と言います。案外単純な名前です。

では本題に戻りますが、この培地に生えた小さな塊、コロニーと呼んでいます（ただし、上記の培地ですべての細菌の検査ができるわけではありません。また病気に関係のない常在菌も生えます）。発育したコロニーの形状から病原性が有るか否かを見極めて再度グラム染色を行う事もあります。次に、さまざまな生化学反応をみる検査キットを用いて詳しく細菌の性質を調べて、細菌名の判定を行い、どのような抗生物質が効くかも調べます。

また皆様に少しでも早く結果を返すために、ある種の細菌しか発育しないような特殊な培地も使用します。例えば食中毒の原因となるサルモネラ菌や、ある種の抗生物質が効かないＭＲＳＡ（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）などが該当します。これらの培地を使用することでできるだけ迅速に報告できるよう工夫をしています。

検査する際は病原性が有るか否かを見極め、どのコロニーが悪さをしているか、いかに早く検査結果を報告できるかを我々は日々格闘しつつ研鑽しています。

写真①



写真②

写真③

外　来　案　内

■診療受付時間　午前８時30分～午前11時まで（ただし、緊急の場合はこの限りではありません）
■診療開始時間　午前９時～
■休　　診　　日　土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～１月３日）
■初診時の特別料金　他の医療機関等からの紹介によらず直接当院に来院された患者さまについては、初診にかかる費用として、1,050円（税込み）をいただいておりますのでご了承下さい。
　ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

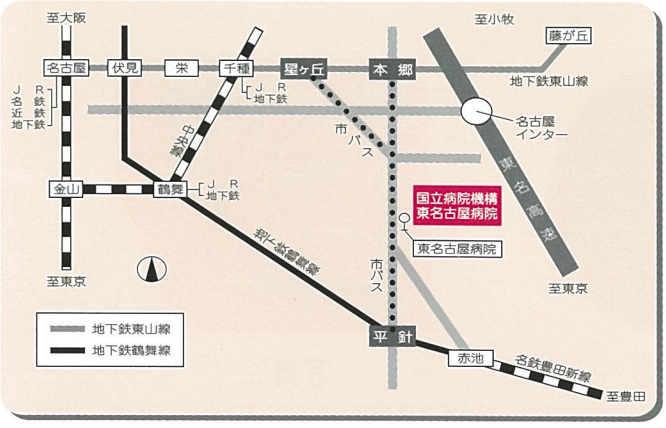
外来診察担当医表

＊再来診は全科予約制です。　（平成21年1月1日現在）

診察室診療科＼曜日	月	火	水	木	金
呼吸器科（初診）	齋藤　裕子	小川　賢二（第１・３火曜） 中川　拓（第２・４・５火曜）	清水　信	清水　信	垂水　修
呼吸器科	垂水　修	清水　信	田野　正夫	田野　正夫	
呼吸器科	中川　拓	山田　憲隆	中川　拓（第１・３水曜） 小川　賢二（第２・４・５水曜）	小川　賢二	斎藤　裕子
循環器科（初診）（月曜日のみ「６」）	当　番　医	が　診　察	し　ま　す		
神経内科			犬飼　晃		
神経内科	饗場　郁子	片山　泰司		伊藤　信二	早川　恵理
神経内科	横川　ゆき	後藤　敦子	後藤　敦子	齋藤由扶子	見城　昌邦
神経内科（初診）	伊藤　信二	第１火曜　犬飼 第２火曜　饗場 第３火曜　伊藤 第４火曜　齋藤 第５火曜　伊藤	齋藤由扶子	犬飼　晃	饗場　郁子
消化器科	堀米　秀夫（10:00～11:00）	高橋　宏尚	渡邊久倫／日比野祐介	小林　慶子	高橋　宏尚
総合内科			濱口　元洋		
呼吸器外科		山田　勝雄	山田　勝雄		
一般外科	渡邊　正範	山田　勝雄	和泉　孝明	加藤俊之（肛門外来）／和泉孝明	渡邊　正範（乳腺外来）
消化器外科	渡邊　正範	加藤　俊之	和泉　孝明	和泉　孝明	渡邊　正範
整形外科	金子真理子	佐々木康夫	村本　明生	金子真理子	佐々木康夫
リウマチ		佐々木康夫			佐々木康夫
脳神経外科	水野　正明			竹林　成典（第１・３・５木曜）	
泌尿器科			青田　泰博		
精神科					山田　堅一
皮膚科	田中　伸（第2月曜日14:00～16:00）				河田　守弘（9:00～11:00）
放射線科	村田　勝人	村田　勝人	村田　勝人	村田　勝人	村田　勝人

※総合内科、泌尿器科、肛門外来、乳腺外来を始めましたので、ご利用下さい。

※予約制は再来診の場合のみです。初診の場合は通常どおりの診療となります。
※時間外・休日の救急診療も行っていますので、外来窓口又は時間外窓口にご連絡下さい。
※当院では、毎週月曜日に外来人間ドック（予約制）を行っていますのでご利用下さい。



●地下鉄東山線星ヶ丘駅下車
　・市バス③番のりば東名古屋病院行き／梅森荘行き　約15～20分　東名古屋病院にて下車
　・星ヶ丘よりタクシーにて約15分
●名鉄豊田新線・地下鉄鶴舞線赤池下車
　・タクシーにて約８分
●地下鉄鶴舞線平針下車
　・市バス①番のりば本郷行き約10分　東名古屋病院にて下車
　・タクシーにて約８分
●地下鉄東山線本郷駅下車
　・市バス①番のりば地下鉄平針駅行き15～20分　東名古屋病院にて下車
●東名高速道路名古屋インターより約15分